

(7) 北 陸



北陸地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は高水準で推移している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いている。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

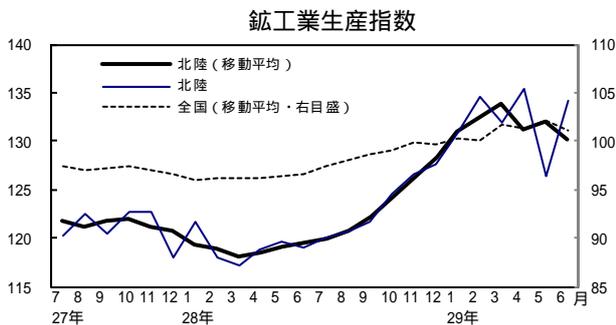
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 29 年 5 月)	今回 (平成 29 年 8 月)	
景況判断	緩やかな回復基調	緩やかに回復	
個人消費	持ち直しの動きが続いているものの、足踏み	持ち直しの動き	
住宅建設	大幅に増加	減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は高水準で推移している。

4～6月期には、電子部品・デバイスは、スマートフォン用の電子部品等が減少した。化学は、医薬品を中心に高水準でおおむね横ばいとなった。はん用・生産用・業務用機械は、半導体需要の高まりにより半導体製造装置等が増加した。繊維は、染色整理等が減少した。金属製品は、建設用金属製品等が増加したものの、おおむね横ばいとなった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

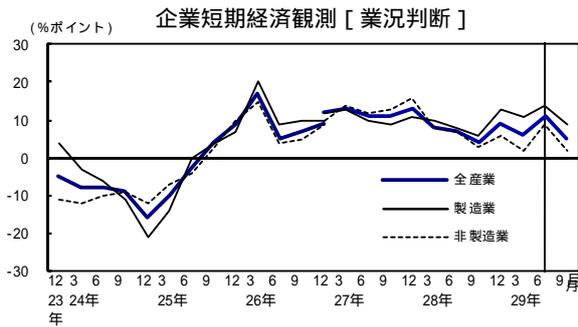
	付加価値 ウェイト	生産				
		1～3 月期	4～6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	20.8	10.9	6.7	3.5	9.2	8.9
化学	13.5	2.2	0.1	7.9	17.4	17.9
はん用・生産用・業務用機械	12.7	7.5	7.6	0.3	2.4	3.6
繊維	8.4	1.2	0.3	1.1	0.1	1.3
金属製品	6.0	1.7	1.5	1.0	1.2	0.6
鉱工業	100.0	4.9	0.4	2.7	6.6	6.2

(備考) 1. 22年=100、季節調整値、最新月は速報値。
2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。

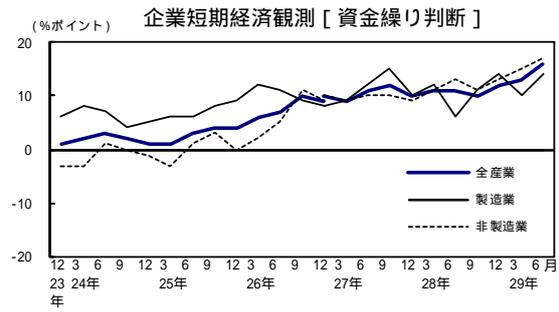
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
2. 4～6月期、6月は速報値。

(7) 北陸

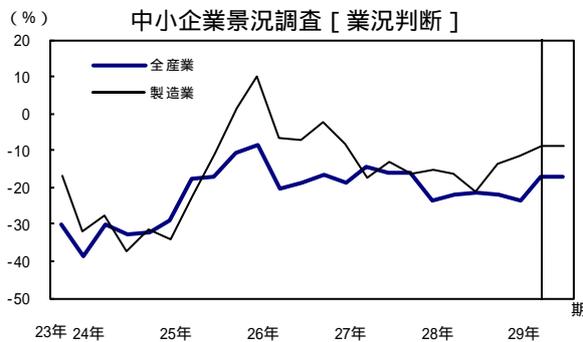
(2) 業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大している。
 企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年9月は予測。
 26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
 26年12月は新・旧基準を併記。

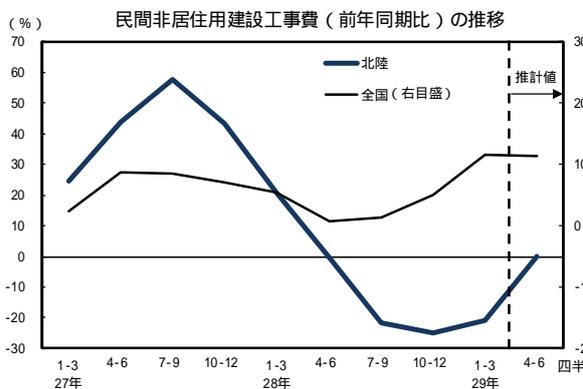


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「地域間で格差はあるものの、新年度に入ってから自治体による発注工事に対して全体としては前年並みの受注となっている(建設業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事はおおむね横ばいとなっている。



(備考)29年4-6月期は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

企業短期経済観測調査[設備投資(6月調査)]

	前年度比、%	
	28年度実績	29年度推
全産業	13.3 (19.6)	1.5 (19.3)
製造業	19.7 (4.2)	9.3 (1.7)
非製造業	3.6 (33.2)	8.3 (36.4)

(備考)()は前回(3月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いている。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

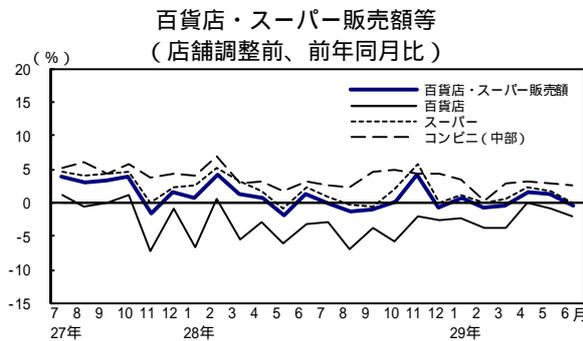
4月は前月比1.3%増、5月は同0.0%減、6月は同0.0%増となった。

百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、4月は、気温の上昇に伴い春物衣料などに動きがみられたほか、新規店舗が好調に推移したことなどから、前年を上回った。5月は、衣料品は振るわなかったものの、飲食料品が催事効果に加え、店舗の新規開店・改装効果もあって好調に推移したことなどから、前年を上回った。6月は、催事や店舗の新規開店・改装効果などから飲食料品には好調な動きがみられたものの、前年より気温が低めに推移したこともあって衣料品を中心に夏物商材が振るわず、前年を下回った。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「大手携帯電話会社の新料金プランの発表によって、金額的にも魅力ある端末が増えて客は買いやすくなっている。店頭においてもプラス提案がしやすくなったため、販売台数が増えた(通信会社)」など、「やや良くなっている」とする回答が増加した。



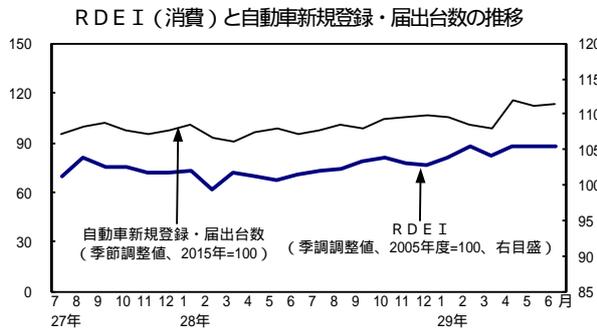
	29年4-6月	29年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	1.0	1.3	0.0	0.0
百貨店・スーパー(*2)	0.8	1.7	1.2	0.5
百貨店(*2)	1.0	0.1	0.8	2.1
スーパー(*2)	1.3	2.2	1.7	0.1
コンビニ(*2)	2.9	3.3	2.9	2.6
乗用車(*3)	17.3	17.7	14.9	18.9
(季節調整値)(*3)	12.2	17.8	2.9	0.6

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

コンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は減少している。

持家、貸家が前年を下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は29年度累計で見ると前年度を上回っている。

